

学年・教科・担当者	2年・技術科・佐藤秀介
-----------	-------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	<ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術について知る 作物の栽培技術 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生物育成の技術がどのように利用されているのか知る。 野菜や花など作物の栽培方法について知識を学び技能を身に着ける。
	5	<ul style="list-style-type: none"> 動物の飼育技術 水産生物の生産技術 	<ul style="list-style-type: none"> 畜産、水産、林業といった普段見ることができないが、自身にかかわる生産技術を知る。
	6	<ul style="list-style-type: none"> 森林の育成技術 エネルギー変換の技術について知る 	<ul style="list-style-type: none"> 社会で利用されているエネルギー資源の種類とその利用方法について知りエネルギーの活用方法を身に着ける。
	7	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー資源の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りでエネルギー変換の技術がどのように利用されているのかを知る
2	9	<ul style="list-style-type: none"> 電気の利用 機械の保守点検 	<ul style="list-style-type: none"> 各発電所の発電方法と発電所から家庭に送られるまでの技術の仕組みを知る。 普段使っている機械等の安全な使用方法を学び、事故やケガをしないよう知識を身に着ける。
	10	<ul style="list-style-type: none"> 運動の利用 動力伝達の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車や自動車など動力伝達を利用して動いているものについて調べ、動力伝達の利用方法を知る。 動力伝達の仕組みを理解し、組み立てることができるように知識を学ぶ。
	11	<ul style="list-style-type: none"> 地域の道路について知る 地域の道路の問題を発見し、課題を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> 普段使っている道路を調べ問題点を見つけ、課題を立てることができるようにする。 見つけた問題点をもとに課題を立て問題を解決できるようにする。
	12	<ul style="list-style-type: none"> 課題を達成するための自動車のモデルを製作する 	<ul style="list-style-type: none"> パーツを組み合わせて、課題が達成できるような模型を作成する。
3	1	<ul style="list-style-type: none"> レポートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 自身が作った模型が課題を達成できているのかなどレポートを作成し、模型の評価を行う。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 発表を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 製作した模型とレポートでまとめた内容をもとに発表を行い、他者の模型を評価する。
	3	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ガソリンで走る自動車より新しい技術である電気自動車について学んだことを生かして評価する。

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 期末考査 生物育成の記録 模型の製作技能
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 期末考査 生物育成の計画書・レポート 自動車模型
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの提出・授業のまとめ 設計計画 レポート

学年・教科・担当者	2年 技術・家庭 家庭分野	安井 知香
-----------	---------------	-------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	健康な食生活② 食品の選択と調理	<ul style="list-style-type: none"> ○健康な食生活を送るために食品についての知識を増やし、情報を自分で判断する大切さを知る。 ○生鮮食品と加工食品の特徴、食品加工の目的と保存の原理、食品添加物、保存方法について知る。(味噌作り) ○食品の安全と情報について、正しい知識や関心をもち、消費者として安全を求めて行動することができる。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品の選択と保存 ・加工食品の選択 ・食品の安全と情報 	
	6	健康な衣生活② 日常着の手入れと保管	<ul style="list-style-type: none"> ○表示を正しく読み取って既製服を選ぶことができる。 ○衣服の材料や状態に応じて適切な手入れができる。 ○環境や資源に配慮した衣生活をおくるための課題を見つけることができる。(洗濯機での洗濯の課題を家庭で行う。)
2	9	環境に配慮した衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ○布を使った製作物(エコバッグ)の計画を立てて作ることができる。 ○資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考えられる。
	10	持続可能な衣生活をめざして	
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の計画 ・布を用いた物の製作 	
3	1	消費生活と社会 消費者としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や家族の消費生活を振り返ることができる。 ○契約について理解できる。 ○様々な販売方法を支払い方法の特徴について理解できる。 ○商品を適切に選択、購入、活用することができる。 ○身近な消費者被害の事例と解決方法を理解できる。 ○消費者の権利と責任について理解できる。 ○消費者を支えるしくみについて調べて、他者に啓発することができる。(啓発広告の作成) ○持続可能な社会へ向けての様々な取り組みが行われていることを知り、家庭で実践できることを考えることができる。(エシカル消費)
	2	消費者の権利と責任	
	3	SDGs と生活 消費行動が社会や環境に与える影響	

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能 生活と技術について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート 製作品、実習記録カード
②思考・判断・表現 生活の中から課題を設定し、解決策を構想することができる。 実践したことを評価・改善し、表現するなど課題を解決する力を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、 製作品、実習記録カード、 授業中の活動・発言
③主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組むことができる。 改善したりして、生活を工夫し創造して実践しようとしている。	ワークシート、レポート 授業中の態度、実習記録カード